

企業庁経営戦略 目標指標
令和6年度 取組実績

基本理念：信頼の水で、地域の未来に貢献します

評価 ◎：目標（以上）を達成した。 ○：目標には達していないが、取組みが進んだ。
▲：目標と実績が乖離している。 -：精査中

※：↑高いほど望ましい。↓低いほど望ましい

取組項目	指標	令和6年度		優位性※	取組の状況、課題	評価	今後の対応 (▲の指標)
		目標値	実績				
安全：安全で良質な水を供給します							
水質管理の強化	用水	水質基準適合率	100%	100%	↑	水質検査結果を浄水処理に適正に反映した。	◎
水質管理の強化	用水	かび臭物質濃度水質基準比率年間平均値	75%	96%	↑	適切な臭気対策（活性炭注入等）を行い、臭気の低減に取り組んだ。	◎
安全で安定した水の供給	用水	苦情発生件数	0件	0件	↓	高性能活性炭の適正な注入を実施するとともに、異臭味の監視を強化した。	◎
安全で安定した水の供給	工水	苦情発生件数	0件	0件	↓	濁度および水素イオン濃度について、条例および運用目標を遵守している。	◎
強靱：信頼を支える強靱なライフラインを構築します							
施設の計画的な更新 水道施設の耐震化	用水	浄水施設の耐震対策の進捗	1箇所	2箇所	↑	令和5年度に吉川浄水場の耐震化を完了し、令和6年度に馬淵浄水場耐震補強工事に着手した。	◎
施設の計画的な更新 水道施設の耐震化	用水	ポンプ所の耐震対策の進捗	6箇所	6箇所	↑	目標どおり令和6年度までの耐震対策を完了した。今後令和9年度以降に南津田導水ポンプ場の対策を行う。	◎
施設の計画的な更新 水道施設の耐震化	用水	管路の耐震化率（耐震適合率）	43.6% (56.0%)	43.3% (56.4%)	↑	・蒲生日野ライン、八日市蒲生ライン、日野ラインおよび竜王ラインにおいて管路更新工事を実施するとともに、長峰ラインの管路工事に着手した。	○
施設の計画的な更新 水道施設の耐震化	工水	管路の耐震化率（耐震適合率）	16.0% (19.0%)	15.7% (18.6%)	↑	・湖南団地ラインおよび竜王山之上ラインにおける管路更新工事を実施するとともに、栗東六地藏ラインの管路工事に着手した。	○
施設の浸水対策	用水	浸水対策の進捗	6箇所	6箇所	↑	目標どおり馬淵浄水場、南津田導水ポンプ場の対策を実施し、全て完了した。	◎
施設の浸水対策	工水	浸水対策の進捗	2箇所	4箇所	↑	令和6年度に彦根浄水場の対策を実施し、全て完了した。	◎
持続：社会の変化に適応した持続可能な経営を推進します							
健全経営の維持	用水	経常収支比率	100%以上	101.5%	↑	4,553,741千円 / 4,485,827千円=101.5%	◎
健全経営の維持	用水	給水収益に対する内部留保資金の割合	100%以上	154.3%	↑	6,365,833千円 / 4,125,607千円=154.3%	◎
健全経営の維持	工水	経常収支比率	100%以上	118.3%	↑	1,083,660千円 / 916,046千円=118.3%	◎
健全経営の維持	工水	給水収益に対する内部留保資金の割合	100%以上	488.2%	↑	4,695,266千円 / 961,833千円=488.2%	◎
地域経済の活性化への貢献	共通	県内産バルブの使用率	100%	100%	↑	目標どおり県内産バルブの使用率を達成した。	◎
人材育成と技術継承	共通	若手水道技術職員の資格取得件数	4件	4.6件	↑	3箇年計画に基づき、対象者に対して研修・資格取得を促し、概ね予定通り取得できた。	◎
環境に配慮した取り組み	共通	過去5年間のエネルギー使用原単位変化率対前年比	-1%	0.8%	↓	湖南朝国ポンプ場および湖南菩提寺ポンプ場の施設移管により使用電力量が増加したため、目標には至らなかった。	○
環境に配慮した取り組み	共通	浄水発生土の有効利用率	100%	100%	↑	全て建設リサイクル土として有効利用した。	◎
地域、社会の理解促進	共通	水道事業見学者の理解度	90%	100%	↑	小学生および一般を対象に延べ1,503人の浄水場見学の受入れを行った。見学終了後に理解度を尋ねたところ、全員の理解が得られた。	◎